



2007年12月期  
第3四半期  
(1月～9月累計)  
業績概要

2007年10月24日

株式会社 大塚商会

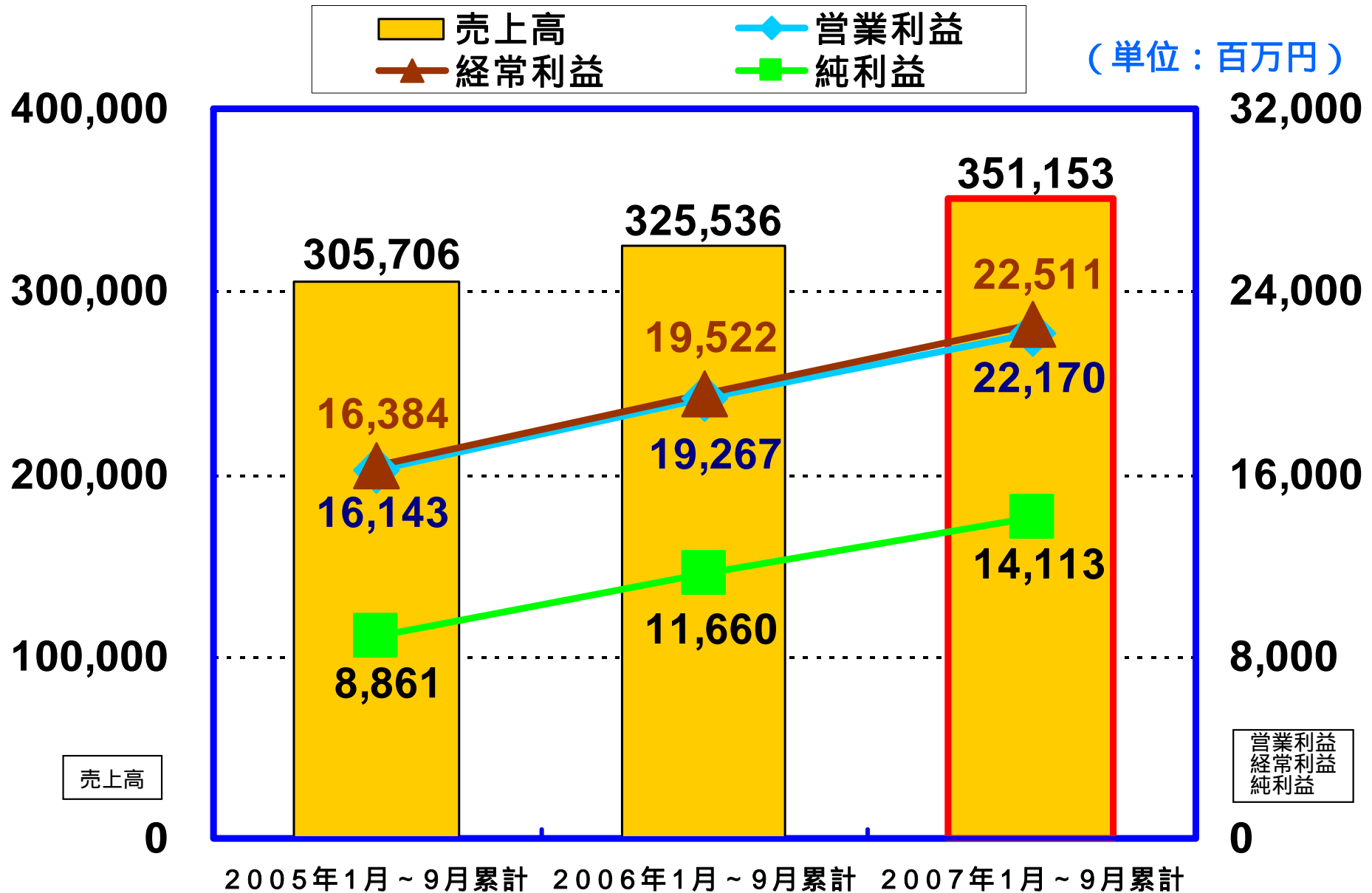
# 2007年1月～9月 業績の概況

(単位：百万円)

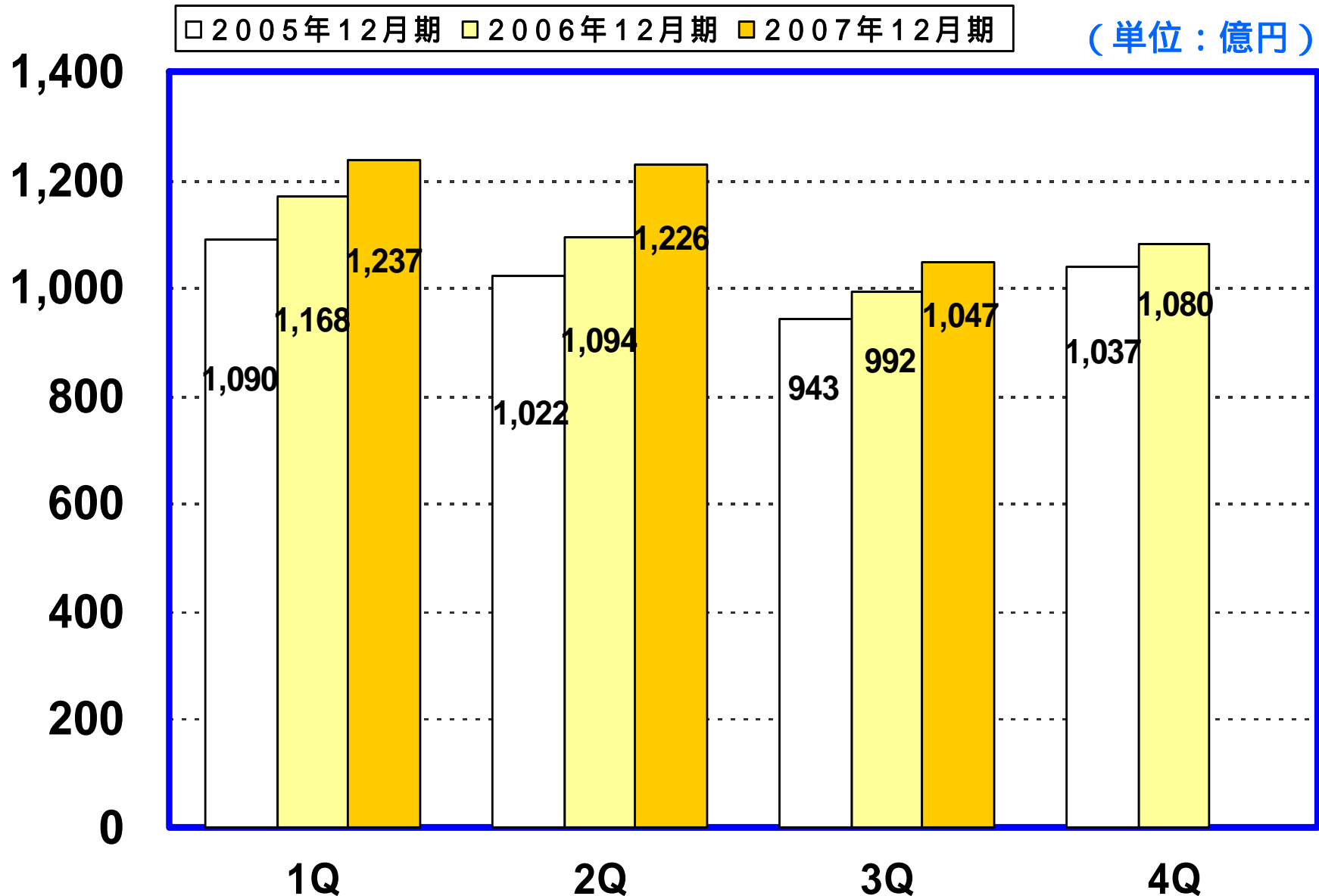
	連 結		単 体	
	金 額	増減率	金 額	増減率
売 上 高	351,153	+7.9%	327,659	+8.4%
営 業 利 益	22,170	+15.1%	20,404	+15.2%
経 常 利 益	22,511	+15.3%	20,851	+14.9%
純 利 益	14,113	+21.0%	14,246	+33.0%

連結

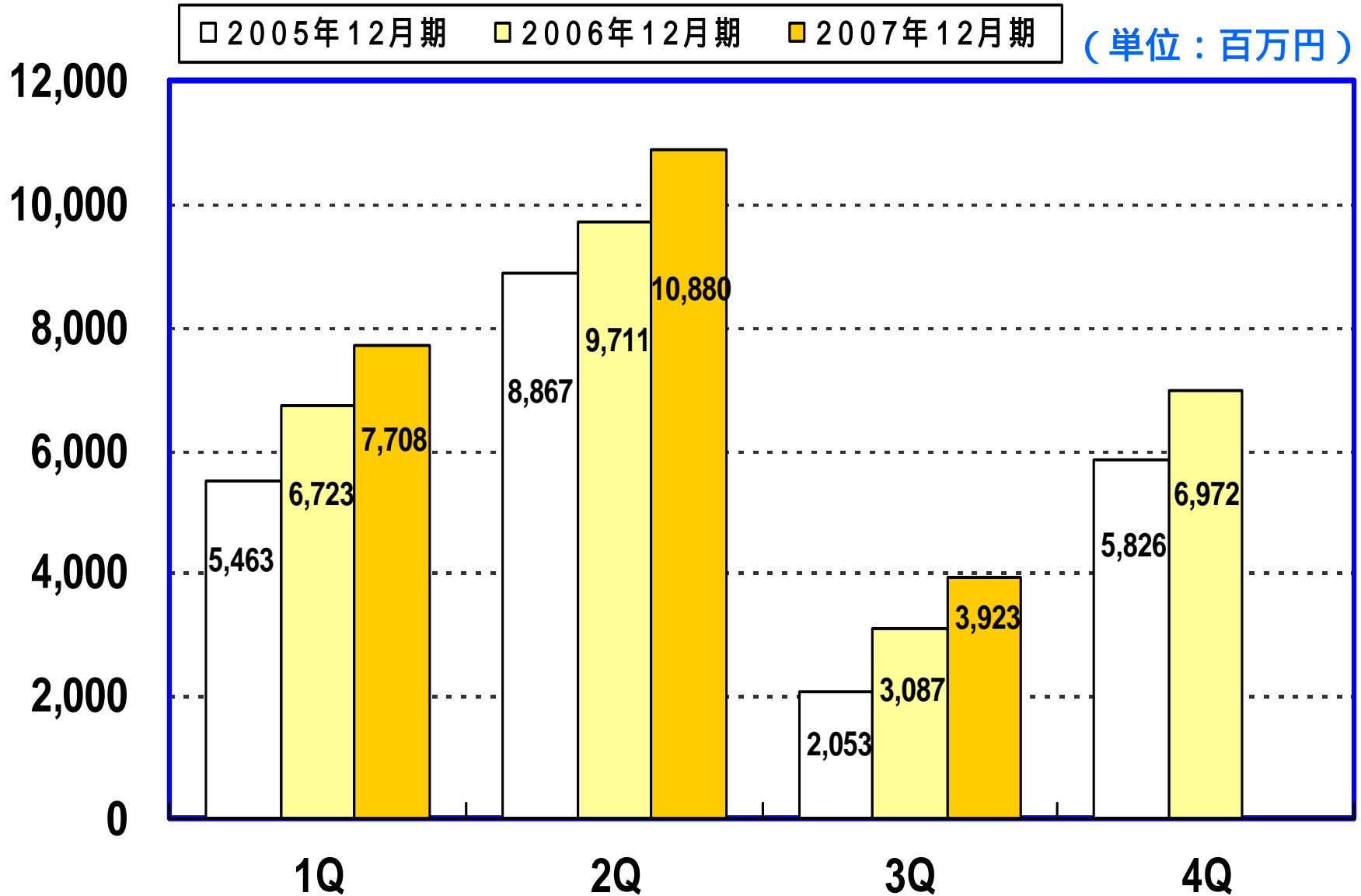
# 売上高・利益の状況



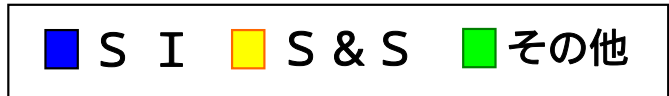
# 売上高の四半期推移



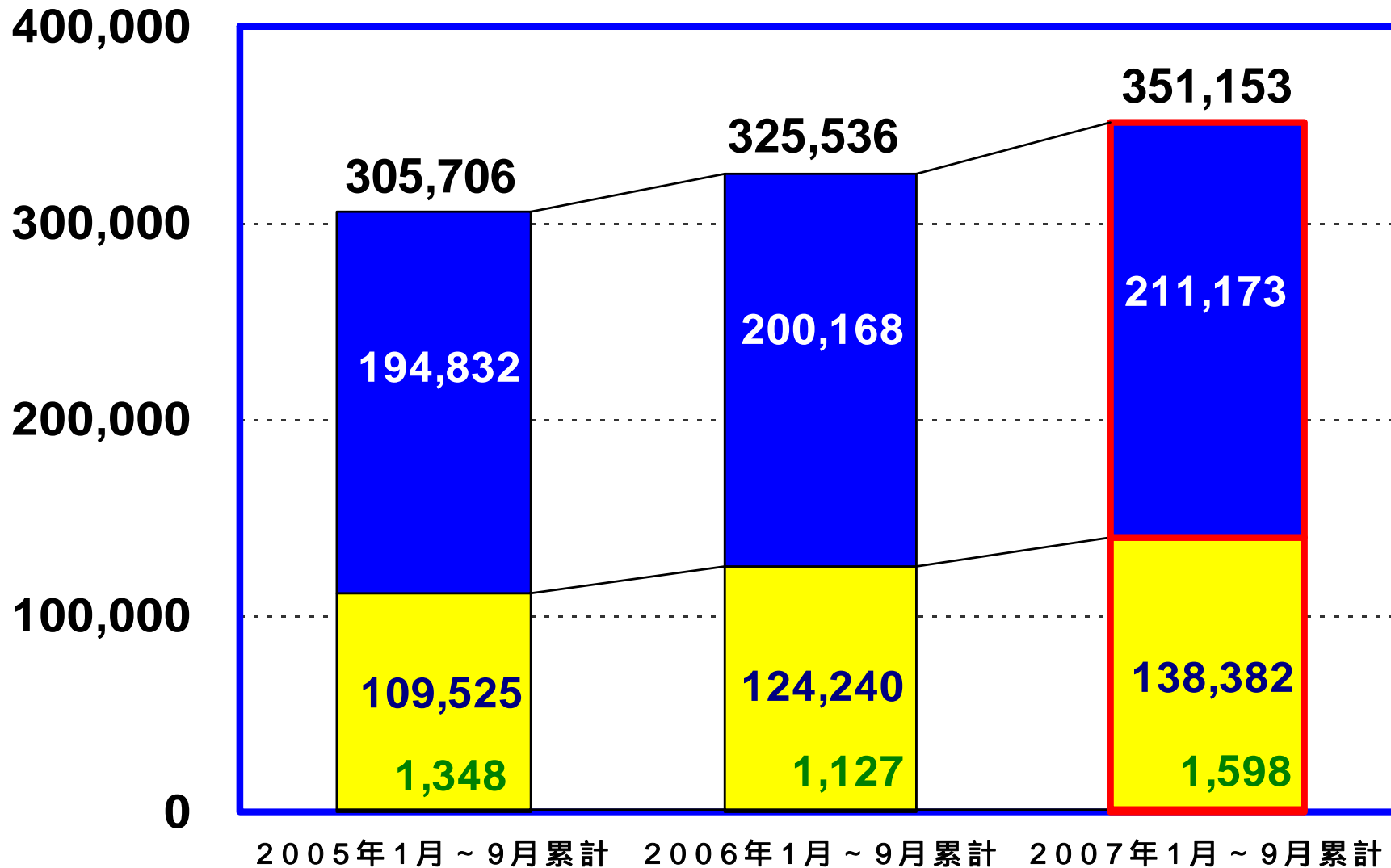
# 經常利益の四半期推移



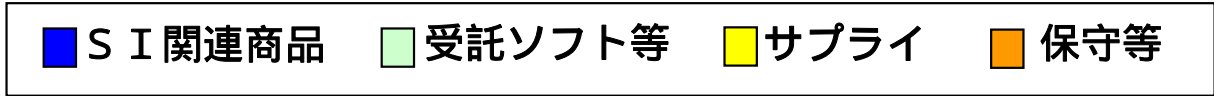
# セグメント別売上高



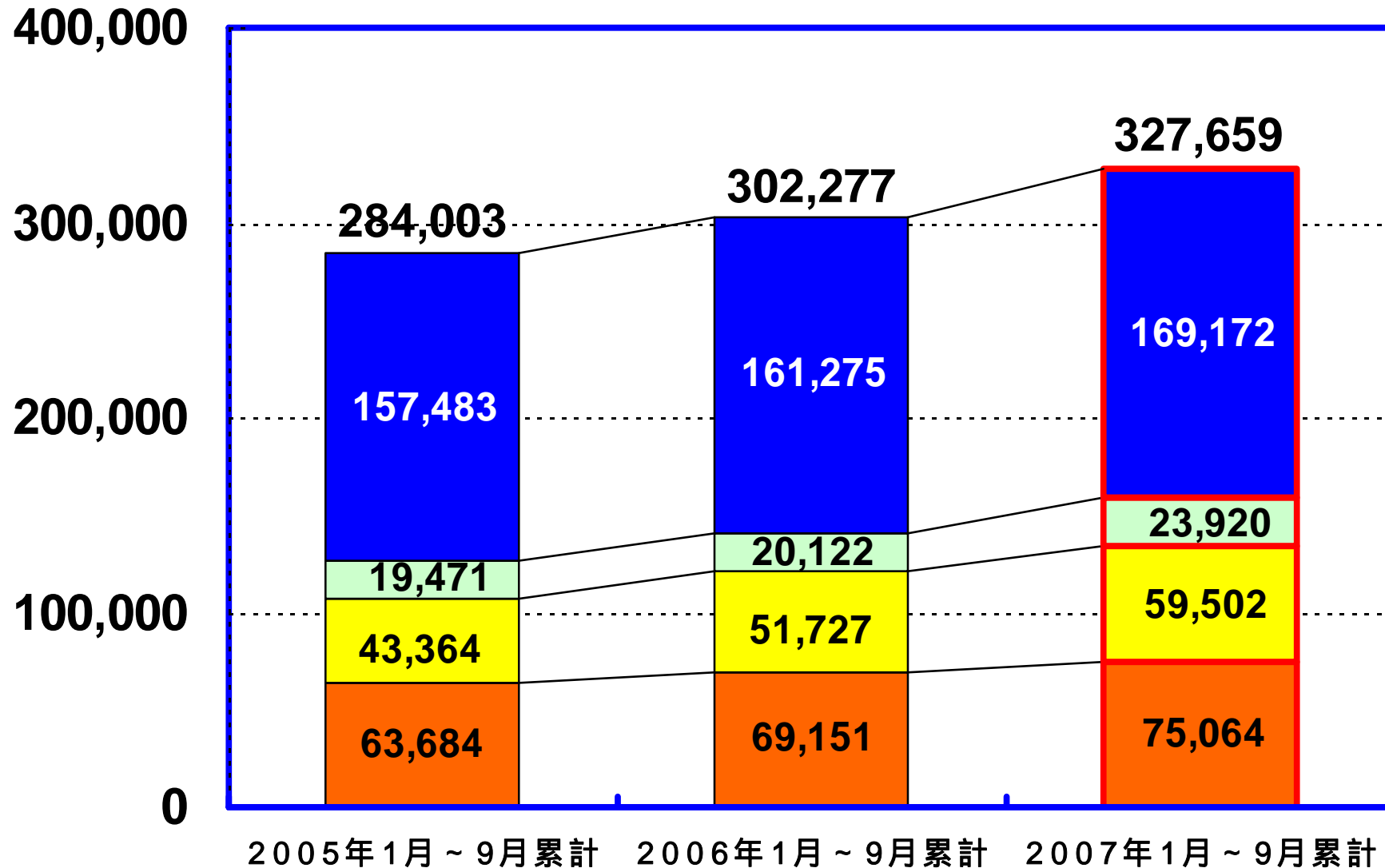
(単位：百万円)



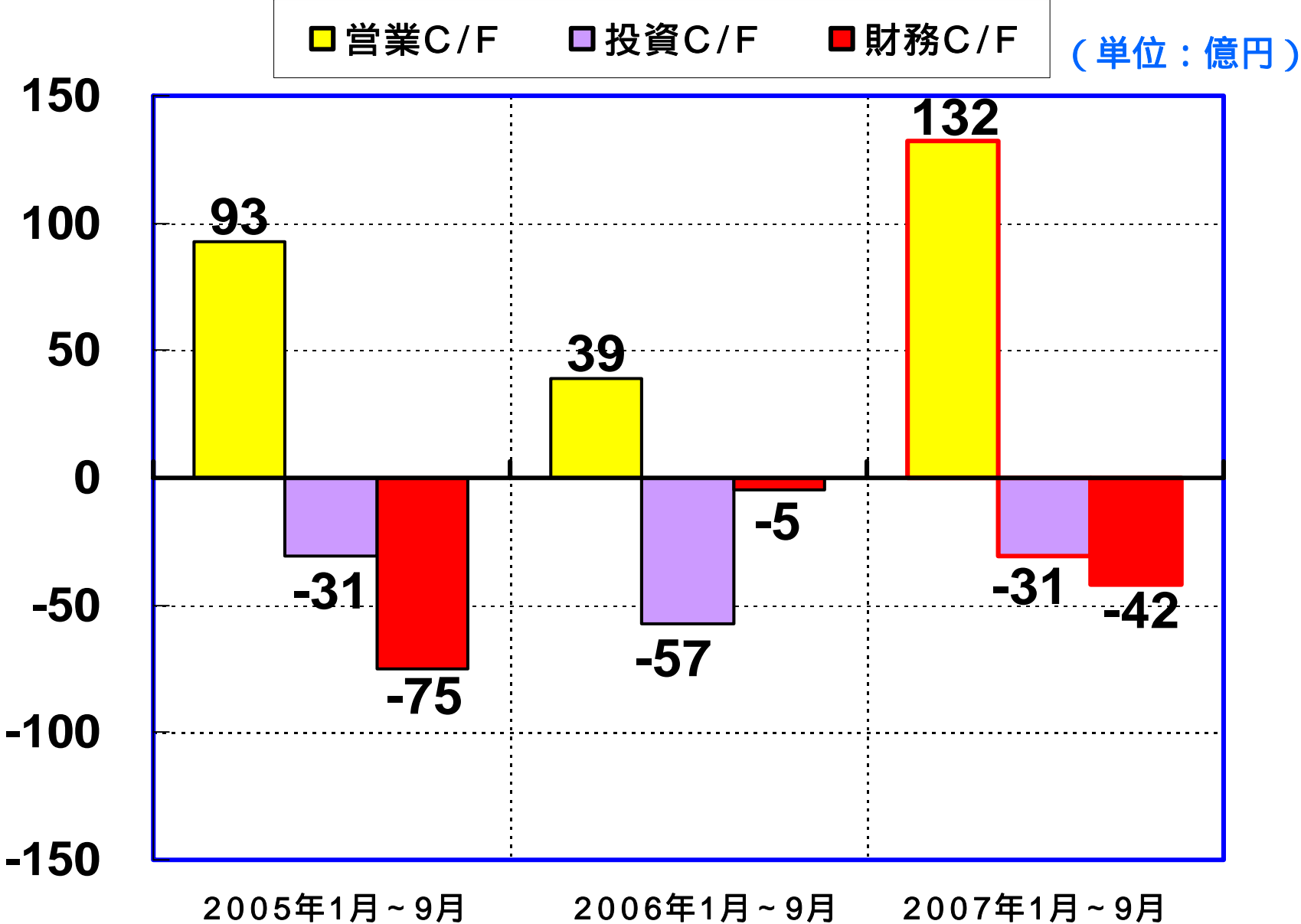
# 詳細セグメント別売上高



(単位：百万円)



# キャッシュ・フロー





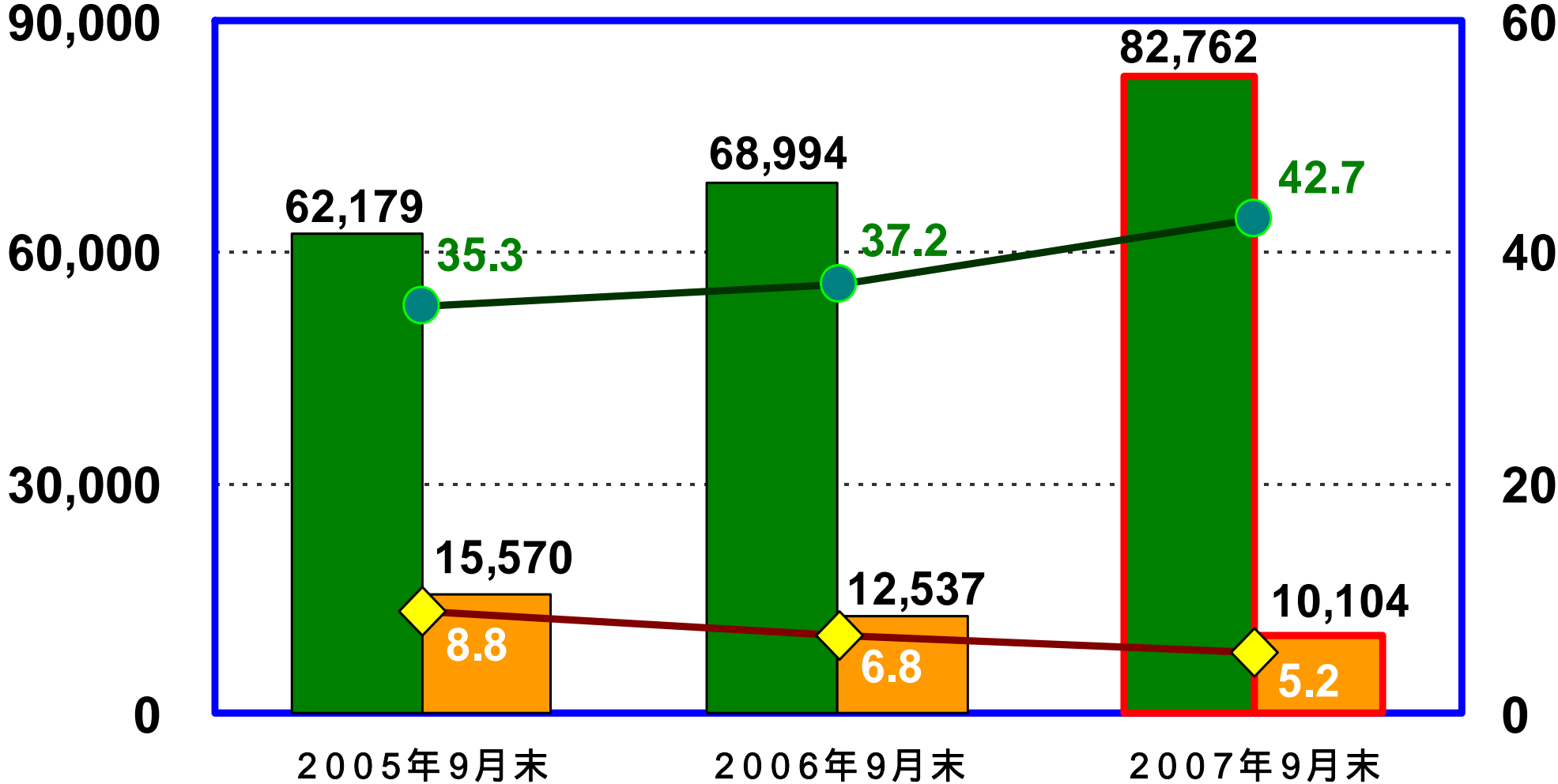
連結

# 自己資本と有利子負債

(単位：百万円)

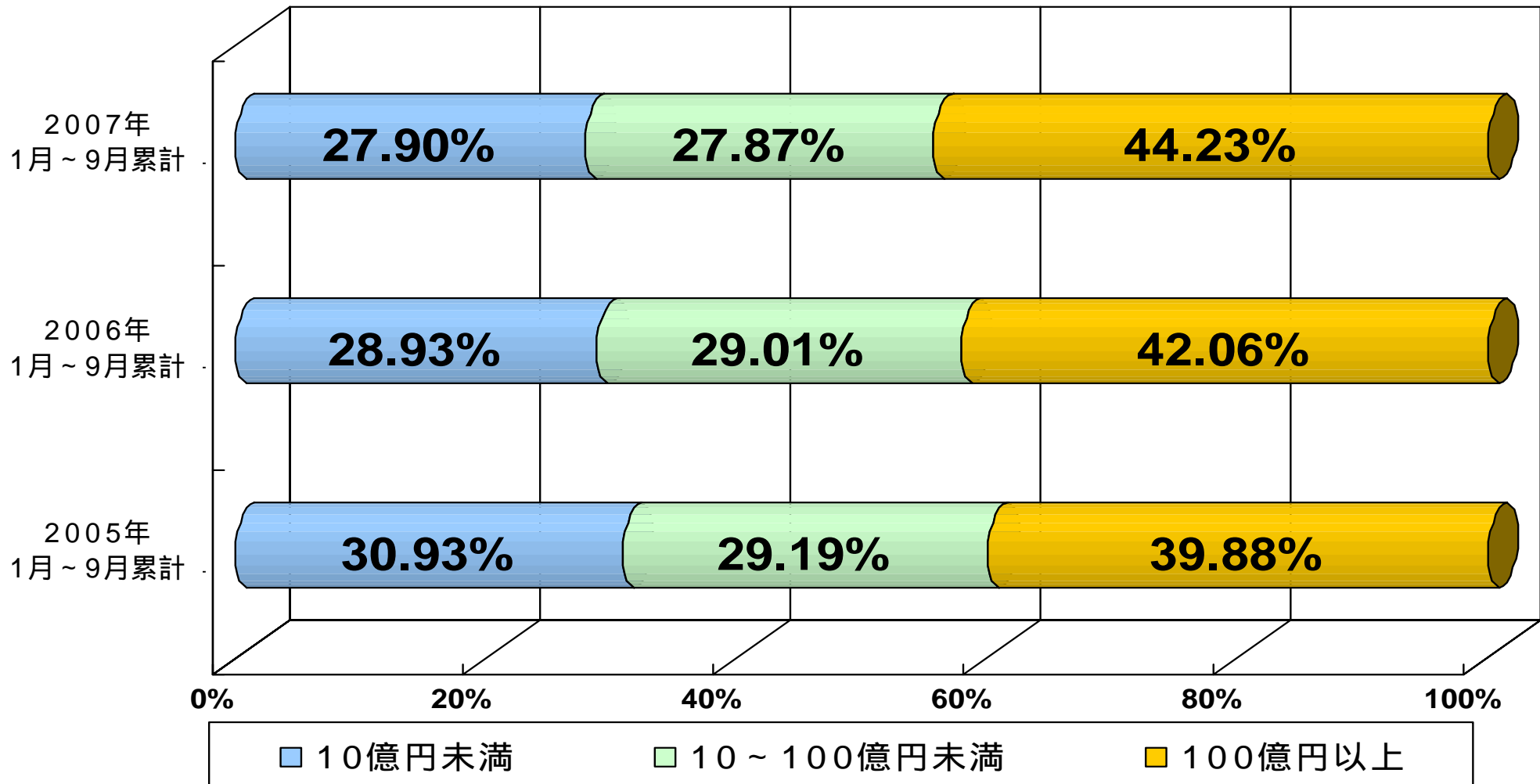


(単位：%)



単体

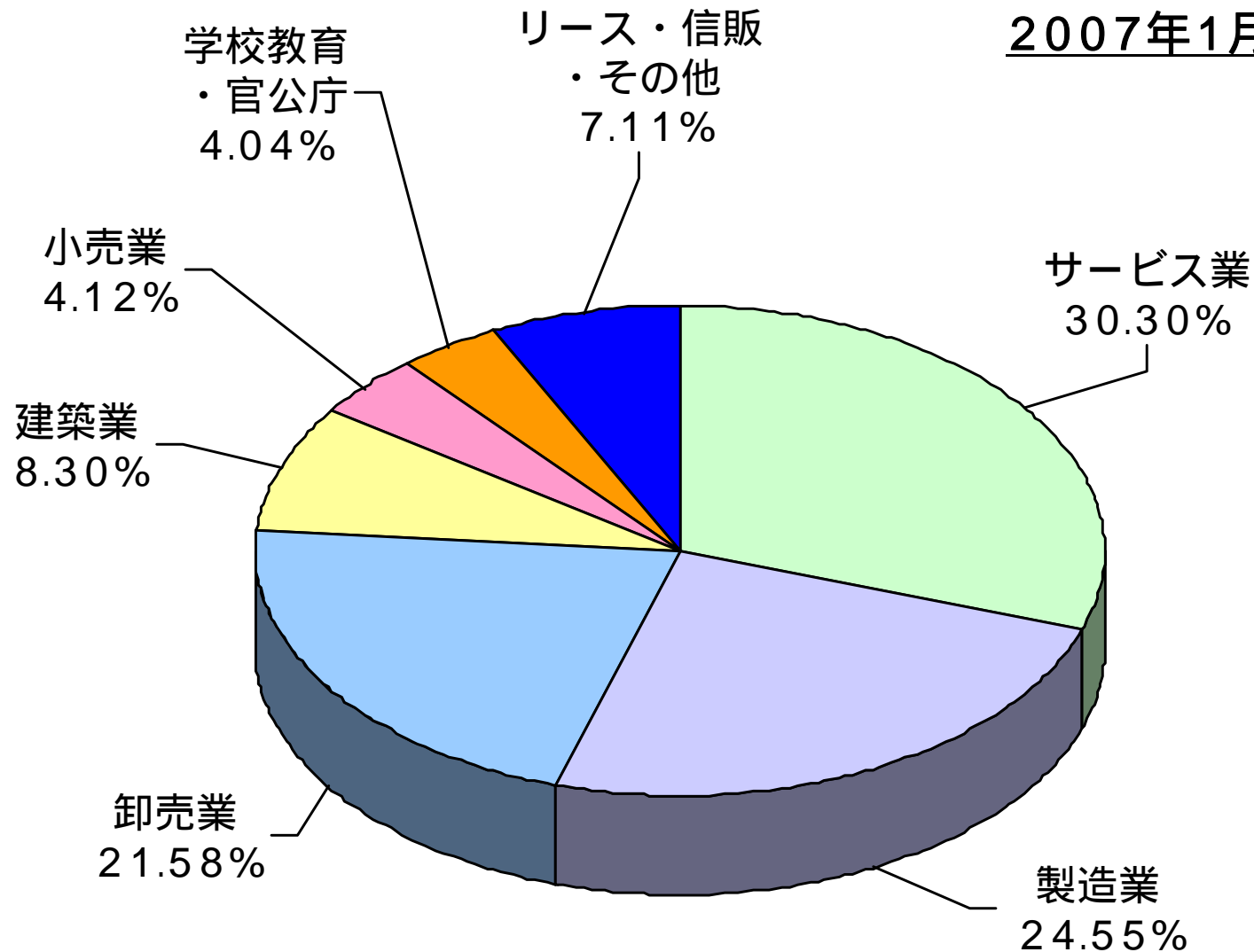
# 顧客企業の年商別売上構成



単体

# 顧客企業の業種別売上構成

2007年1月～9月累計





# 重点戦略事業の状況

< 売上高 >

(単位：百万円)

	2005年 1月～9月累 計	2006年 1月～9月累計		2007年1月～9月累計		
	金額	金額	増減率	金額	増減額	増減率
MRO	46,134	55,011	+19.2%	<b>63,151</b>	<b>+8,139</b>	<b>+14.8%</b>
SMILE (ソフト)	4,766	5,196	+9.0%	<b>5,097</b>	<b>-99</b>	<b>-1.9%</b>
ODS 2 1	24,428	25,320	+3.6%	<b>28,114</b>	<b>+2,793</b>	<b>+11.0%</b>
OSM	13,689	19,696	+43.9%	<b>29,306</b>	<b>+9,610</b>	<b>+48.8%</b>

< 販売台数 >

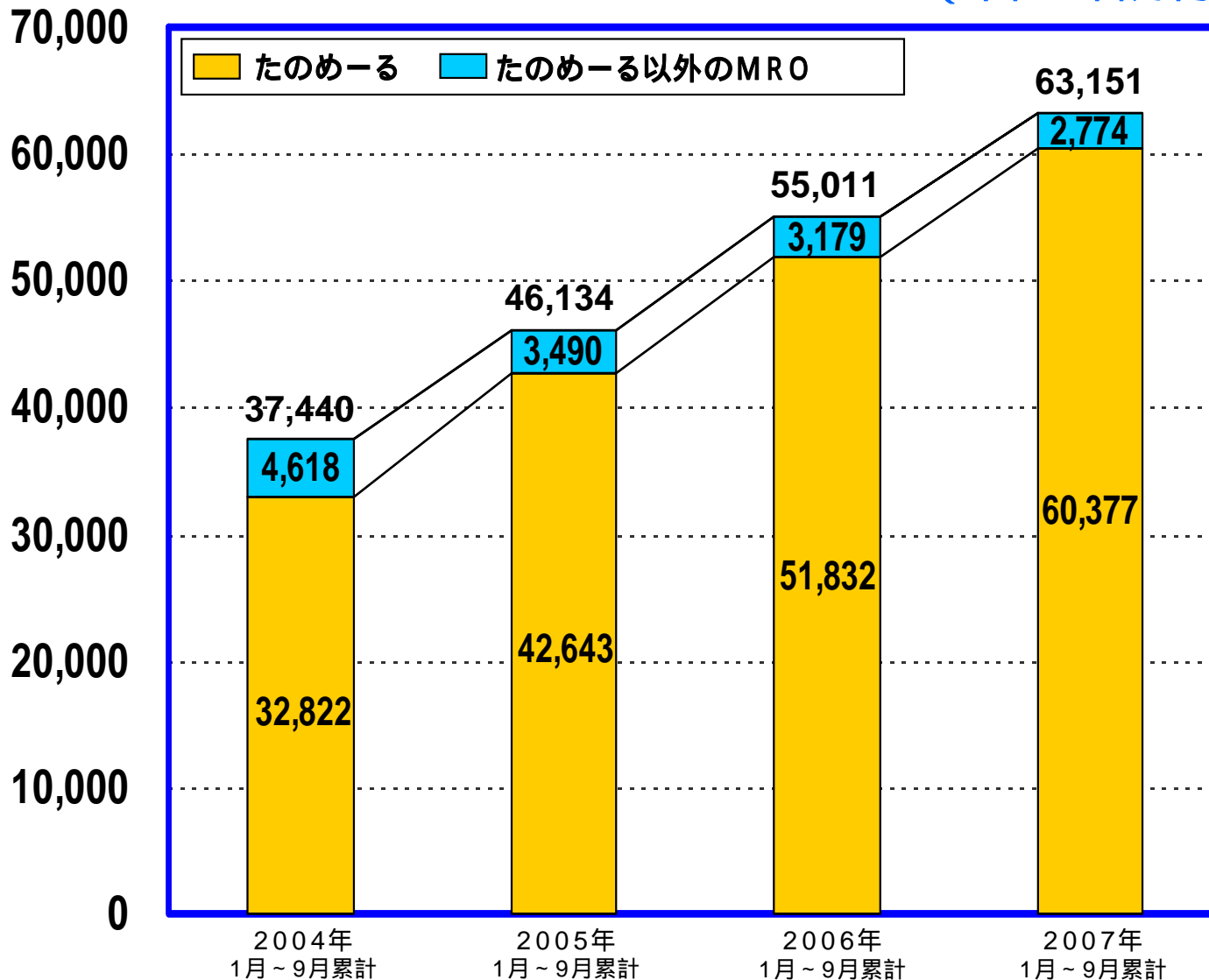
(単位：台)

複写機	22,740	22,805	+0.3%	<b>22,976</b>	<b>+171</b>	<b>+0.7%</b>
(内カラー複写機)	12,143	13,711	+12.9%	<b>15,143</b>	<b>+1,432</b>	<b>+10.4%</b>
サーバ	24,098	28,140	+16.8%	<b>26,880</b>	<b>-1,260</b>	<b>-4.5%</b>
パソコン	415,846	408,821	-1.7%	<b>353,929</b>	<b>-54,892</b>	<b>-13.4%</b>

単体

# MRO事業の売上高推移

(単位：百万円)



2007年1月～9月累計  
売上高前年増減率

MRO事業 14.8%増

たのめーる 16.5%増

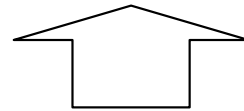
MRO内たのめーる比率  
95.6%

MRO事業  
631億円

たのめーる  
603億円

# 外部環境

## 企業のIT投資が引き続き堅調に推移



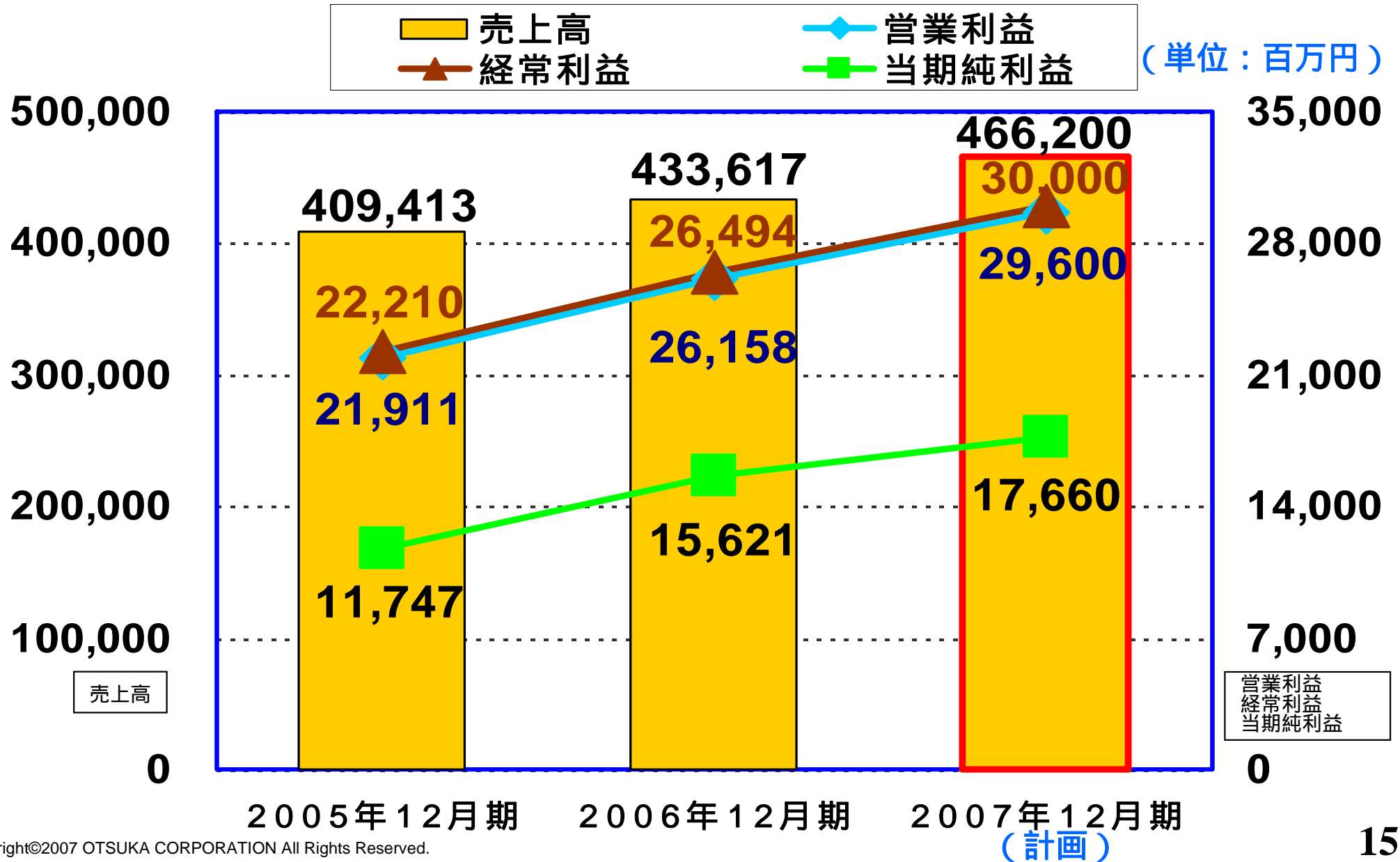
原油高、原材料価格の高騰はあるものの、  
堅調な企業業績を背景に、設備投資が継続

- ・ ITを活用した経営改革ニーズの継続
- ・ 法令や公的手続電子化への対応
- ・ システムのアップグレードやインフラの見直し
- ・ 情報セキュリティ対策の強化

# 当社グループの取り組み

- 複合システム提案・総合提案による競争力の向上
- 内部統制に関連するシステム提案
- 「SPR」の機能強化と活用
- 「営業支援センター」による営業活動の効率化
- プロジェクト管理強化による生産性向上
- ストックビジネス「たよれーる」の強化

# 売上高・利益の計画





社 会

お 客 様

信 頼 に 応 え る

株 主 様  
取 引 先 様

従 業 員

# 本資料についてのご注意

- 1 . 本資料に記載しております各四半期の業績は、会計監査人による監査を受けておりません。
- 2 . 本資料は、2007年12月期第3四半期の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 3 . 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 4 . 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
- 5 . 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。